

### 人口の動き

11月末現在

人口	6,799 (-3)
男	3,300 (-7)
女	3,499 (+4)
世帯数	1,544 (-1)
( )内は前月比	



No 53  
新年号

発行人 川口町公民館長 清 保 科  
編集人 川上 敏 夫



霊峰十八番を仰ぐ

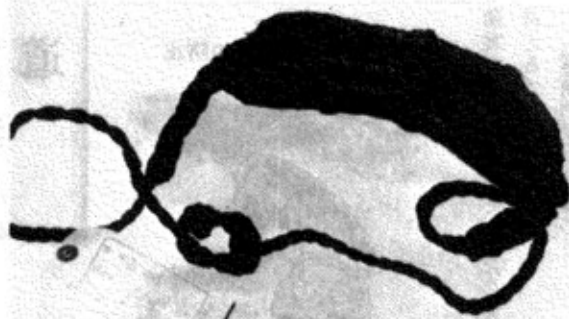
## 川口町の民俗資料 (一)

民具収集につきまして、町民のみなさんからご協力いただきました。大変ありがとうございました。今後とも民具の調査活動を継続してまいりますので、ご協力お願いいたします。今回は集まったものの中から、いくつかをご紹介します。



サツデ

サツデ  
肩あて  
この二点は八郎場の小林清吉さんから寄贈いただいたもので、上越線が開通する大正十年まで魚野川の川船の通行に使われた民具です。現在のように交通の発達していない時分のことですから、川船は重要な交通機関だった訳です。十二間という大きなこの舟は、コレンボと呼ばれるいましたが六日町舟は下りは一日で長岡まで



肩あて

行ったとのこと。上りは長岡から川口まで八人で引き、川口から六日町を十二人で引き、長岡・六日町間を四日もかかったと言っています。「サツデ」「肩あて」は上りの舟引きの時に使用したもので、大変な労働であった訳です。  
なお、川舟にまつわる民具・民俗はいろいろありますが、今回は着用したものについてご紹介したいと思います。

### おたずねします

下の写真の民具についておたずねします。小さな風呂桶のようなものですが、名前や用途がわかりませんので、ご存知の方は教育委員会までお知らせください。マグプロ?手セイフロ?



俵山喜秋先生から、図書の寄贈いただきました

◎句集  
みそはぎ 俵山喜秋  
「みそ萩を 籠一杯に 売りに来し」  
(同句集より)

健康で  
活力ある  
明るい  
町に





# 就任のごあいさつ



青柳 弘

昭和五十三年の新春にあたり、皆様方に謹んで、お慶び申しあげます。

さる十二月、皆様方の絶大なるご指導とご支援を賜り、町政を担当させていただくことになりました。

私は皆様方のあたたかい友情に感激いたして、おりますと共に、その責任の重大さに身の引き締る思いで一杯であります。「初心忘るべからず」の言葉のとおり、政治とはたゆまざる努力の積み重ねであることを肝に銘じまして、皆様と共に悲しみ、共に喜ぶ政治本来の姿実現のために、お役にたつべく奉公をお誓いいたします。

脱しきれない経済不況と統出する企業の倒産、失業者の増大など、社会不安の大きい情勢下にあつて町政運営も厳しいものが予想されるところであります。私の三十年にわたる政治経験と信条を生かして、昨年、各地でお約束いたしましたように、「住民を主人公とする公正で民主的な対話と町民参加の政治」、「住民に密着したサービス行政の運営」によって、これまで

にない、新しい川口町を生み出すために全力を傾けてまいりたいと考えております。

国の施策が不況脱出を柱にしておりますように、個人の経済安定は欠くことのできない大きな問題でありますので、農業及び商工業の振興については、特に力をそそぎ、新しい方向を見出すために町民の英知を結集して、特別の施策を取り入れるべく、早急に検討を進める所存であります。

道路整備を中心とした公共事業の促進、福祉の向上、教育の充実、水道の安定供給、交通及び除雪対策など、きめこまかにみなさまの要望を取り入れて、積極的に推進し実現を図ることは、私に課せられた責務であります。

また、町役場は行政の中心でありますので、おとしよりやご婦人方でも気安く訪れて、なんでも相談ができるように、サービス意識の徹底と窓口の改善によって、親しみのある役場に切りかえることも、早速実施する考えであります。みなさまの尊い信託にこたえるためにも、時代の流れに対応できるように、サビバ意識の徹底の転換をはかり、健康的で活力のある町づくりを意欲をもって進める所存でございますので、今後ともあたたかい友情と厳しいご指導を賜りますよう、心からお願ひ申しあげます次第であります。

新年にあたり、町民の皆様方のご健康と限りない繁栄を心から祈り、就任のごあいさつといたします。

# 謹んで新年のお祝いを申し上げます

- 町長 青柳 弘
- 助役 岡村 賢吾
- 収入役 桜井 仁夫
- 議員 江島 啓
- 副議長 山崎 良治
- 議員 小林 広吉
- 議員 広井 松雄
- 議員 関 市作
- 議員 星野 誠一
- 議員 覚張 定一
- 議員 喜多村喜平
- 議員 関 登代一
- 議員 広井 吉夫
- 議員 上村喜平治
- 議員 星野喜勇平
- 議員 小見 昇司
- 議員 古田島正則
- 議員 上村 正雄
- 議員 綱 直太郎
- 議員 小林 徹
- 議員 丸山 省三
- 議員 関 誠一郎
- 議員 桜井 利男
- 議員 星野 一弥
- 議員 古田島 正
- 議員 星野 誠一
- 議員 小見 芳雄
- 議員 広井 松雄
- 議員 森山子之吉
- 議員 喜多村 勝
- 議員 綱 直太郎
- 議員 浅間十四三
- 議員 山田 彦作
- 議員 森山 太吉
- 議員 阿部熊次郎
- 議員 鈴木 時起
- 議員 小林 清吉
- 議員 星野 正作
- 議員 山田 政一
- 議員 関 新作
- 議員 大淵 寅松
- 議員 関 登代一
- 議員 大淵 有澄
- 議員 横 道隆
- 議員 森山 平八
- 議員 堀沢 政栄
- 議員 小西登久二
- 議員 大淵 政次
- 議員 上村 一夫
- 議員 村山 道龍
- 議員 桜井 藤雄
- 議員 山吉 玄蕃
- 議員 中林 友次
- 議員 松村 昭次
- 議員 吉田 紀子
- 議員 久島 芳樹
- 議員 小宮山豊次
- 議員 山田 米三
- 議員 阿部 幸吉
- 議員 星野 高慶
- 議員 大淵 継親
- 議員 星野 武夫
- 議員 保科 清
- 議員 大淵 寅美
- 議員 山吉 勝治
- 議員 喜多村義治
- 議員 依山 精治
- 議員 山田 勝美
- 議員 水落 潔
- 議員 岡村百合子
- 議員 阿部 浩衛
- 議員 小林 広吉
- 議員 渡辺 茂
- 議員 佐藤 清
- 議員 滝沢 久平
- 議員 覚張 栄一

# 謹んで新春のお喜びを申し上げます

議長 江島 啓

町民の皆様方には、元気に溢れ希望に満ちた新春をお迎えのことと拝察いたし喜びに堪えません。

昨年は国会を始め、県も我が川口町も内外ともに、文字どおり、多事多難の明け暮れに終始いたしました。

特に当町におきましては、十一月十三日に現職の星野町長が病のため急逝され、暮れの大変いそがしい中、町長選挙に伴ない、併せて議会議員の補欠選挙が行なわれ、新しい町長と新しい議員が誕生いたしました訳であります。

町民生活の安定と福祉の向上を図るためにも社会経済情勢等の変化に即応して行政の改善に、町民の奉仕に今後一層努力をいたしたいと存じます。

ここに輝かしい新年を迎えるに

# 新町長・町議の紹介

星野輝政町長の逝去に伴う町長選挙は、十二月十八日告示されたが、青柳弘氏のほかに立候補者がなく、同氏の無競争当選が決定した。また議会議員の補欠選挙も、小林徹氏が無投票で初当選した。当選された両氏の略歴をご紹介します。



町長 青柳 弘 56才

。旧制小千谷中卒  
。昭和二十二年から町議会議員七期、議長三期、その間各種常任委員長特別委員長を歴任  
。新潟県建設業協会理事  
。川口町越山会長  
。昭和五十二年二月  
。全国町村議会議長会より、三十年の長きにわたり、議会制度の高揚、地域の振興及び住民福祉の向上につくした功績により、特別功労賞を授ける  
。任期  
。昭和五十二年十二月二十五日から四年間



議会議員 小林 徹 31才

。小千谷高校卒  
。町青少年問題協議会委員  
。町体育指導委員  
。自民党県連青年部幹事長  
。任期  
。昭和五十二年十二月二十五日から昭和五十四年四月三十日まで

- 横 好子 星野 幸夫
- 大淵 広吉 森山 満茂
- 角張 八重
- 国民健康保険運営審議委員  
。広井 松雄 星野 徳衛
- 。覚張 定一 上村 一夫
- 。桜井 利男 山吉 玄蕃
- 。関 弘藏 小林 祥悟
- 。内山徳四郎 栗原 稔
- 。佐藤 靖邦 阿部 長吉
- 。共済損害評価委員  
。関 弘藏 阿部 稔
- 。渡辺 徳雄 涌井 勲
- 。喜多村栄彦
- 。公民館長 保科 清
- 。社会教育委員  
。大淵 寅松 小西登久二
- 。丸山 池治 綱 富兵
- 。内藤 フミ 丸山 正
- 。保科 清
- 。学校長  
。泉水小学校長 滝沢 久平
- 。川口小学校長 依山 精治
- 。田麦山小学校長 樋口 保富
- 。木沢小学校長 加藤 昇
- 。川口中学校長 丸山 正
- 。公民館地区館長  
。喜多村 隆 古田島莊平
- 。金山 昭英 山田 英夫
- 。丸山 聖浄 阿部 浩衛
- 。小林三千三 広井源一郎
- 。森山 正夫
- 。文化財調査審議委員  
。山吉 玄蕃 丸山 池治
- 。中林 宗衛 古田島慎市
- 。中林 稔 久島 芳樹
- 。善意の人  
。社会福祉事業に  
。一〇万円 相川口 関 夏代さん  
。一五、二九四円 北島三郎ショー  
。実行委員会  
。保育所児童クリスマス  
。プレゼント  
。五万円 川口五 綱 久松さん  
。歳末募金特別協力者  
。川口五 立正佼成会  
。川岸町 片野 正二さん
- 。国民健康保険運営審議委員  
。大淵 寅美 山吉 勝治
- 。喜多村義治 依山 精治
- 。山田 勝美 水落 潔
- 。岡村百合子 阿部 浩衛
- 。小林 広吉 渡辺 茂
- 。佐藤 清 滝沢 久平
- 。覚張 栄一
- 。固定資産評価審査委員  
。小西登久二 大淵 政次
- 。上村 一夫
- 。民生委員  
。村山 道龍 桜井 藤雄
- 。山吉 玄蕃 中林 友次
- 。松村 昭次 吉田 紀子
- 。久島 芳樹 小宮山豊次
- 。山田 米三 阿部 幸吉
- 。選挙管理委員  
。大淵 有澄
- 。横 道隆
- 。森山 平八
- 。堀沢 政栄
- 。監査委員  
。大淵 寅松
- 。関 登代一



# 昭和五十二年 道路除雪計画

積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する特別措置法に基づいて、国県が行う主要道の除雪路線に通ずる通勤、通学、通園道路の主要町道の除雪、圧雪を行う。

◎除雪を高率、円滑に行うためA種、B種に分け除雪を行います。A種路線、平常時は優先路線で異常降雪時以外は常時一車線の幅員を確保する。B種路線、平常時は、一車線確保を原則とするが、A種路線を優先するので余力の範囲内で除雪する。

◎除雪、圧雪を円滑に遂行のため次のことについて各位の協力をお願いいたします。

- 一、除雪計画路線内に駐車しない。
- 二、除雪路線両側の民地へ、投雪及び雪の押出しについて、了承願いたいこと。
- 三、屋根の雪を道路に落した場合、は後始末をすること。
- 四、除雪により農地に入った砂利処理は受益部落又は、大字で願いたいこと。
- 五、除雪、圧雪車に近寄らない。

## 人形劇サークル旗揚げ公演

川口町に人形劇サークルが誕生しました。仲間は只今十二名。みんな青年団活動に文化運動を……というので、青年学級を基盤にしてできあがったサークルです。幸い川口小学校の田中シマ子先生の指導を得て、人形づくりから衣装づくり、演技、舞台づくり、そして第一回公演……と生き生きとした活動を行なっています。

旗揚げ公演は十一月十三日福祉センターで行なわれましたが、福祉センターは思いもかけず満員の盛況。サークルの仲間は驚天して大喜び、如何に文化への欲求が強いかを印象づけられました。ポードビルや「小さなお城」その他、初めての公演だけにみんな緊張気味でしたが先ずは大成功……と次の公演の準備に取りかかり、魚沼学園の訪問も含めてすでに三回の公演を成功させました。昭和五十二年の夏にできたサークルは毎週木曜日、福祉センターを本拠地として活動しています。新たな仲間を求めていますので、福祉センター

## 恐ろしいシンナー 接着剤の乱用を防止しよう!

塗料類を溶かすときに使われるシンナーや工着などに使われる接着剤には、有機溶剤といわれるトルエン、酢酸エチルなどの人体に有害な化学薬品が含まれています。

「シンナー遊び」と称してこれらの臭いをおく非行が流行し、今まで県内では、千五百人近くの少年が補導され、また、十一人余りが死亡しています。

町でも最近シンナー遊びが流行し、特に本年は既に六人が補導され、低年齢層の少年を中心に今後増加する気配を示し、まことに憂慮すべき状況にあります。

シンナー、接着剤を乱用すると幻覚症状をおこし、顔色はどす黒く、ほおがこけて目に生気がなく、のどを痛がるようになり、更に乱用を続けると自制心がなくなり犯罪を犯したり、精神障害をおこし廃人となります。

このような恐ろしい結果を招かないように、家庭では子供の態度、行動、友だち関係に十分注意し、乱用しているのを見つけたら、うわさを耳にしたら、直ちに警察や役場住民課へ連絡してください。



## 脳や内臓がおかされて 死亡します

## 楽しく長寿のつどい

去る十一月二十三日和南津地区では、民謡和南美会(会長関重信 会員十七名)主催、和南津部落後援による六十五才以上のおとしよりを招待、「長寿のつどい」が、新装になった和南津集落開発センターで行なわれた。

秋雨のなか足音が心配されたが十一時開会のところ、九時過ぎからぞくぞくあつまり始め、いままやおそしと待ちかまえ、なかには頂

いた小瓶を早くも可愛いがり始めご老人もいた。

開催にあたり会員はもとより部落協議会、各連絡長諸代の協力があればこそ。

プログラムが進むにつれ、観客、舞台一体となり、外の雨などこへやら三時半開会まで踊る人は一人もなく、全員で天神囃を合唱、盛会のうちに終わった。

### 和南津地区



六、危険箇所、越冬池、道路から見えにくい下屋のある所等には標識(赤旗等)を設置されたいこと。

七、除雪路線との接続点の雪ならしをされたいこと。

八、除雪、圧雪路線内の支障物件除去を徹底されたいこと。

◎除雪計画中昨年と変わった部分は次のとおりです。

- ・川口岩間線、峠部落入口まで増。
- ・中山竜光堀之内線、枝沢線交点まで増。
- ・前島北ノ浦線、全線増。
- ・岩ノ田二号線、和南津集落開発センターまで増。
- ・野田線、全線増。

## 戦没者の遺族に対する 特別弔慰金について

◇昭和五十二年改正により支給対象範囲及び対象遺族の範囲が拡大されました。◇

一、満洲事变対象者にも支給  
今迄は、昭和十二年七月七日(日華事変)以後に公務上疾病にかかり、死亡した者の遺族に對して特別弔慰金が支給されてきました。が、今回の改正により、昭和六年九月八日から昭和十二年七月六日(満洲事变以後日華事変前)に公務上疾病にかかり、死亡した者の遺族で、昭和五十年四月一日現在において、遺族年金、公務扶助料等の受給権者のいない遺族に對して、新たに特別弔慰金二十万円が支給されることになりました。

二、三親等内親族対象者にも支給  
今迄の、対象遺族としては、配偶者、子、父母、孫、祖父母、兄弟姉妹でしたが、昭和五十年四月一日前にすべて前記の遺族が死亡又は失権していた場合は、戦没者の戦没当時まで引き続く一年以上生計維持又は生計同一にあった、三親等内の親族にも特別弔慰金が支給されることになりました。

三、請求期限は昭和五十二年十月一日から昭和五十五年九月三十日までです。

◇昭和五十年改正の特別弔慰金の請求はお済みですか。◇

昭和十二年七月七日以降の戦没者の遺族で昭和五十年三月三十一日までに、公務扶助料、遺族年金等を受給していた人が、死亡等により失権し、他に年金等を受給することのできる人がいない遺族に二十万円(十年償還の国債)が支給されます。

一、特別弔慰金(三万円の国債)を受給した人。  
受給した人が死亡した場合も対象となります。

二、昭和十六年十二月八日以後の戦没者の遺族で、弔慰金を受給した人があり、前記一、の特別弔慰金を請求しなかつた遺族。

三、昭和十二年七月七日から昭和十六年十二月七日までの間の戦没者の遺族。

該当する遺族で、まだ請求してない人は、請求期限が昭和五十三年三月三十一日ですので早く請求してください。

なお、特別弔慰金の請求手続き等詳しいことは、役場住民課に問い合わせください。

## 還付の申告は お早めに

昭和五十二年分の所得税の確定申告と納税は二月十六日から三月十五日までとなっていますが、税金の還付を受けるための申告書は二月十五日以前でも受付けておきます。

税金が還付される人は……

- ①住宅を新築したり、新築住宅を買った人
- ②病氣などのため多額の医療費を支払った人
- ③災害や盗難にあつて損害を受けた人
- ④五十二年の途中で退職し、年末調整を受けなかった人
- ⑤源泉徴収された原稿料や、配当などの収入が少額で、その他の所得もあまり多くない人
- ⑥予定納税のある人で、確定申告の必要がなくなった人……など

ですが、それぞれについて、必要な条件がありますからご注意ください。

なお、還付される税金が三万円以上になる方は、申告書に受取る銀行や農協などの預金口座を記入してください。税務署から皆さんの口座に自動的に振込みされますから受取りに向く手数料ははじめて大変便利です。

最近、税務署の者だと偽って税務関係の出版物を不当に高い値段で販売したり、売上げや取引先など営業上の秘密を電話で聞き出すにせ税務署員。が出没し、各地で被害が発生しています。

税務署では、出版物を訪問販売することはありません。また、税務署の職員は身分証明書をもっていきますから、不審な場合は身分証明書の提示を求めるか、最寄りの税務署に照会してください。

なお、電話による営業内容の照会があつた場合には、相手先を確認するため、電話をいったん切つて改めてかけなおすなど、被害を受けないようくれぐれもご注意ください。

税務署

## にせ税務署員にご注意を



新聞掲載「五月だかん」は動されません



### 参観交代本陣利用の経緯(二)

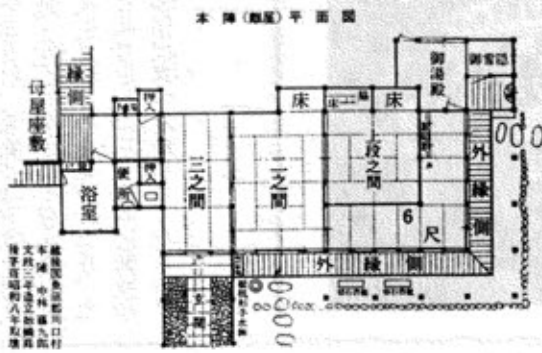
中 林 宗 衛

一 廿五歳 志丁銭三拾文  
一 拾五才 志丁 拾五文  
一 両替金壹両 銭六貫百文  
右者当所諸直段書上候通相違無  
御座一候 以上  
四月十七日  
川 口 駅 御本陣 氏名  
長岡御飛脚中様 覚  
一 一人足 三拾人  
一 馬 三拾疋  
右五月十八日御通行被為、遊候節御入用馬書面之通無差支御継立可仕候為、念請書差出候已上  
四月十七日  
川 口 駅 問屋名  
長岡御飛脚中様 御請書之事  
殿様御儀五月十八日当宿御昼休被仰付、難有承知仕候何之差合無之本陣掃除仕可奉御待請、候万一本陣差支之儀出来候ハ、宿中御本陣可成所申付御宿御差支仕間候為、念御請一札差上候已上  
四月十七日  
川 口 駅 御本陣 氏名

一 長岡御飛脚中様 覚  
一 銭貳貫四百文 人足三拾人  
一 但老人ニ付八拾文  
一 三百拾八文 但老人ニ付八拾文  
一 四貫三百拾文 本馬廿七疋  
一 但百六拾文  
一 銭七貫三拾八文 此金壹両貳百七拾五文  
一 兩替六貫百文 人馬割御役人兩替目録六貫文、書出し前文之通りにて請取外老兩に付銭百文才料内分にて遣都合六貫貳百文ニ相成候  
右説明文は、文字不鮮明(特に助辭)にて意味不詳。才料は幸領方一御宿割人馬割御同勢御上下拾老人上三人次三人下五人位設営隊とも言うべき人達が、前交渉にやってくる。同一人員が江戸迄通して行くものか、何班にも分れて派遣されるのか定かでない。  
右賄之  
皿すしの類 平ます、切目、猪口煮豆 茶碗 青菜  
右御私茶代共式貳百貳拾文請取申候前々酒出候へとも是より酒延行

可仕事

一 御通行当日賄之 皿すしの類  
平くし貝、ふき、包とうふ  
猪口煮豆 御飯  
一 御本陣附 拾人位  
一 中間式番宿拾人位  
是は入口裏間に相賄



一 銭貳拾貳貫三百貳拾五文 御人数貳百卅五人  
一 銭五百七拾文 御馬三疋 老疋 百九拾文  
合銭貳拾貳貫八百九拾五文 此金三兩貳分貳朱六百七拾八文  
右之通御旅籠代御渡被置奉請取候以上

川口駅 氏名

五月十八日

御掛 御役人中様

御検約に付申より五ヶ年之間御旅籠の内廿五文宛減し候御立など重要ではないが、記録してあるので記してみた。設営隊のうち上と下の身分の差は分らぬが同一の献立だったであろうし、御通行当日も大体同じ。これは前掲の相場書上の昼旅籠一人九十五文とあるので受入側で打合せの上定めるのであろう。  
なお御通行当日の式百卅五人は、うち、本陣の殿様付(側用人や小姓達御近侍人位と警備その他雑役の中間達拾人位)を除いた式百余人は今の民宿に当る民家に各家の部屋数に応じて三人、五人、十人等子め割当てしておく。川口宿には当時街道に面した民宿可能な家が廿八軒あって、各大名その都度の人員に応じて割当てた。通行人数は必ずしも禄高に準じなかったとみて、溝口候(五万石)文政六年八月御入部(掃城)には三百六十八人位とあり、同じく文政六年八月掃城(十五万石)の掃城には二百人位と記してある。因みに、新発田藩は津川から会津へ出て、会津街道を往還したらしく、高田御原家は当然ながら、長野から軽井沢と中仙街道を利用したのであろう。両家が三國街道を選んだのは稀れで、この文政年度の通行記録のほ

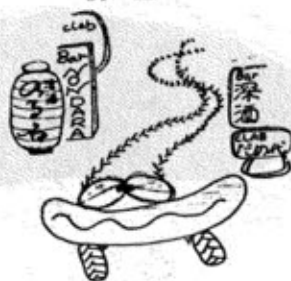
断わるまでもなく、殿様の食事は、すべて同行専属の料理人の手に成り、器物を始め材料等一切持参し、本陣側は燃料と水を提供する程度であった。昭和三年八十才で亡くなった私の祖母は、暮末、本陣の主婦だったので、大名の宿泊を眼のあたり見ていたわけで、大名の献立など生前に聞いておけば良かったと後悔しているが、ただ一度、この辺では従来一般に食べなかつた野草のつくしを合物にして猪口につけてあるのを見た、話したことがあった。(つづく)

この文は長岡郷土史第十五号に掲載されたものを転載したものです。

### 気をつけよう人も車も冬の道

十二月十一日から一月十日までの一ヶ月間、冬の交通事故防止運動が実施されています。この時期は道路事情が悪くなり、また飲酒の機会が多くなる事から事故が多発しています。そして特に夜間の交通事故の多発時期ともなります。これは交通事故全体の四十七パーセントも占め、昼夜間の交通量を

#### 飲酒運転の防止



勘案すると、極めて大きな割合と言えらるでしょう。  
運動の重点は四つ。  
○ 飲酒運転の防止  
○ スリップ事故の防止  
○ 夜間事故の防止  
○ 踏切事故の防止

#### スリップ事故の防止

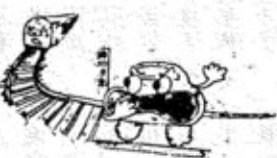


運転者の自覚はもちろん、まわりの人、特に友人や妻子の力により防くことのできる事故が沢山あります。地域ぐるみ、家庭ぐるみ、悲惨な交通事故を川口町から追放しましょう。

#### 夜間事故の防止



#### 踏切事故の防止



### Xマスパーティー

毎年恒例となつてい、ます青年団主催のクリスマスパーティーが、今年も十二月十八日、福祉センターを会場として盛況のうちに終了しました。

今年も暖冬のためか、昨年を上回る百名以上の若者が町内各地域から集まり、ゲーム、ダンス、プレゼント交換と楽しみ交



流を深めました。

### 青年懇談会開かれる

十二月三日、福祉センターで教育委員会主催にて青年懇談会が開かれました。今後の青年活動をどのように取り組んだらよいかを、地区の青年会、青年団、サークルの方々や教育長を交えて懇談しました。全町の若者たちとの交流の場として、青年フェスティバルをやりたい……との建設的な意見やら、要望などがでて、年度内には是非もう一度と言うことで終了しました。

### ◆保育所入所申込みの受付について◆

先般、各戸に回覧にてお知らせしましたが、昭和五十三年度前期(四月〜九月)の申込みを受付しておりますので、入所を希望される方は申込みください。

● 東部保育所  
昭和四十七年四月二日〜昭和五十一年四月一日までの間に生れた児童。  
西川に、田麦山、木沢地域を除く全域。

● 西川口保育所  
昭和四十七年四月二日〜昭和五十一年四月一日までの間に生れた児童。  
川岸を含む西川口全域。

● 田麦山保育所  
昭和四十七年四月二日〜昭和五十一年四月一日までの間に生れた児童。

● 木沢保育所  
昭和四十七年四月二日〜昭和五十一年四月一日までの間に生れた児童。  
小高を含む田麦山全域。

一、申込み受付月切  
昭和五十三年一月十四日(期日厳守)

二、申込み受付場所  
役場 住民課  
東部、西川口、田麦山、木沢の各保育所

なお、申込みについての詳しいことは、役場住民課又は各保育所に問合せください。

### 技能士の専攻

通信方式による専門知識の付与  
実務経験があればだれでも受講できます。学歴、年齢等は問いません。  
いつでも受付けます。  
受講料 5,000円  
訓練期間 1ヵ年  
訓練内容 労働省編纂の教科書、指導書による自学自習、質疑応答、設問解答、添削指導、面接指導(全国各地の総合高等職業訓練校等で休日利用のスクーリング2〜3日)

訓練科 機械科 仕上げ科 機械製図科 機械検査科 時計修理科 回転電機組立て科 鋳造物科 鋳造物科 鉄鋼熱処理科 木型科 板金科 製罐科 金属塗装科 電気めっき科 配管科 建築科 ブロック建築科 左官科 家具木工科 建築科 タイル張り科 建築塗装科 とび科 機械編みメリヤス科 洋服科 広告美術科 オフセット印刷科 凸版印刷科 活版製版科 (29科)

修了者には技能士の国家検定で受検者のもっとも難関とされている学科試験(2級)の免除の特典が与えられます。  
○ 受講案内は、長岡市住吉3丁目1番1号 新潟総合高等職業訓練校 ☎33-2420・33-2421